



おおさか

今秋10月28日～11月4日アメリカワシントン州のオリンピアから約20名のAmbassadorsが来阪します。昨年3月末のインドNasik club以来、一年半ぶりの公式受け入れとなります。「オリンピアってどんなところ」「オリンピアクラブってどんなクラブ」「どんな人達がやってくるの」これら3つのポイントについて紹介します。



オリンピア (Olympia) はアメリカ合衆国ワシントン州西部のピュージェット湾の最南端に位置するワシントン州の州都です。

オリンピアという名前は街の北にあるオリンポス山にちなんで付けられたものでこの山がギリシャのオリンポス山に似ているということに由来しています。2000年に行なわれた国勢調査によると人口42,514人、世帯数は18,670です。人種構成は白人が85.3%で、アジア人5.8%、アフリカン・アメリカン1.9%、先住民1.3%に比して圧倒的な比率を占めています。年間の降雨量は多く、11月から2月が最も雨の多い月で市街が水に浸かることがよくあります。市の総面積のうち9.7%が水地域で、公園や自然保護区域が広範囲に整備されています。オリンピアは兵庫県の加東市と姉妹都市で、約60マイル北にはおなじみのシアトル市があり、周辺のタコマなどを含めて地域大都市圏を形成しています。オリンピアクラブは25年前にJerry Baileyという女性によって活動を始めましたが、彼女は現在91歳、いまでも元気にメンバーの一人として活動しています。現在のメンバー数は87名、多くは高齢と健康上の理由でなかなか渡航できなくなりましたが、クラブの活動には元気に参加しています。



州議会議事堂

“The Friendship Force of Olympia, Washington, USA is so very happy to accept your invitation for

an exchange visit in the fall of 2009. We thank you very much for inviting us ” で始まる挨拶メールを送ってくれたMrs. Jo Ann Youngはメンバー歴7年で、ご主人のMr. Mike Young と二人で共同代表を務めています。ジョアンは25年間教師をした後、1985年から私設の心理療法士と学校のコンサルタントを続けています。ご主人のマイクも元教師で1999年に退職、二人ともFF活動、家庭や地域活動、旅行など忙しい日々を送っているということです。今回の渡航のEDはジョアンがEDですが、もう一人のEDがMrs. Marjorie Sebestaです。

「どんな人達がやってくるの？」現在2人のEDと交信し確認中ですが、ほぼ20名という連絡をもらっています。内訳は、ご夫婦5組、母娘1組、女性3名それにEDのセベスタさんの孫息子2人とといったところです。



オリンピア市街とレニアー山

メンバーの目玉になりそうなセベスタさんご自慢の15歳のお孫さん二人。一人は海外遠征もするほどのスポーツマンで、もう一人はトップクラスの学力を有し、ロックバンドで活躍している学生です。今回オリンピッククラブは韓国のソウルで一週間ホームステイした後、大阪に来ます。大阪でのホームステイの後、広島のア芸の宮島に行くことも大変な楽しみで、そのアレンジも依頼されています。(池田 政綱 記)

連携と協働へのステップ！地域グループ活動がスタートしました

頼まれてする交流や協力から一歩踏み出して自ら何ができるかを考え、「会員の一人ひとりがいろんな形で交換に参加することでFFの一員としての誇りを持ちましょう」という投げ掛けからスタートして半年あまり。大阪クラブの地域特性を考え、エリア別にグループを作り「各エリアグループ単位でファミリーホストとデイホストやディナーホストなどが連携しながらそれぞれの役割を果たす、そんな組織作りを目指そう」とグループの集いが開かれ始めました。

今回は、神戸と京都の2グループで行なわれた第1回の集いのあらましを紹介します。

『神戸グループ』 神戸地区の会員17名の内、1名の欠席を除きほぼ全員が、6月6日(土)10時～12時30分コープ神戸・岡本店に集合。ホスト、デイホストのあり方について話し合いが持たれました。アンバサダーの受け入れは会員全員で行なうという意識の確認、ホスト、デイホストの調整、費用およびその役割の分担方法などについて熱心に話し合われました。名簿で名前だけは知っていても、お互いに顔を合わせたこともなかった会員同士が一堂に会しランチを共にしながら和気あいあい話し合えたことは、大変有意義でした。お互いの親睦を図るうえでも、受け入れをスムーズに行ううえでも、今後ともこのような会を実



施しましょう！次回はアルコール付きで一層打ち解けた対話を楽しみましょう！と約束して別れました。

(市原 稔弘 記)

『京都グループ』 7月4日(土)11時、京都御所前の旧水戸藩邸跡に建つホテル京都ガーデンパレスに7名が集まり、初めてのミーティングを持ちました。神戸から駆けつけられた森本会長を交えて、まずは米井登美子さんを偲んで黙祷を捧げました。会長挨拶に次いで、出席者全員による自己紹介とFF入会のいきさつや体験したことの披露、趣味などが紹介されました。受け入れの時に気付いたことや苦労話などが話題の中心でしたが、皆さんがお持ちの趣味や特技をFF活動の中に「どう生かしていくか」ということも話し合われました。今年度オリンピッククラブ受け入れ時のオプションツアーについても熱心な意見交換があり、京都



ツアーとの兼ね合いを考えながら新しいオプションを検討することを課題として設定しました。活発な意見交換と討議で話が尽きず、美しい庭園を眺めながら美味しいランチを満喫した3時間でした。実りの多い一日、次回はもっとたくさんのメンバーが参加され、より楽しい親睦の場となることを期待しています。

(細辻 幸子 記)

‘まずはメンバーを知りましょう’ これこそグループ連携成功の鍵です！大阪クラブの進めている地域グループ単位の連携強化に向けて、お互いを知ることからスタートさせましょう。長年グループを支えてこられた方とこれから支えになろうとする新しい会員の方、それぞれお一人ずつを紹介するコーナーです。

振り返れば10年、いろいろありました

1999年8月シカゴとエドモントンへの渡航がFF大阪への初参加でした。家内の友人である古川マツエさんの紹介でした。シカゴの印象は大都市、多民族、格差。2001年にソウルツアーに参加、当時教科書問題がデリケートな時期でしたが、決行できてよかったですと思います。熱い歓待を受けました。2002年にハンブルグとリンブルククラブ(ベルギー)に申し込み、準備完了していたのですが、出発の3日前に母が病に倒れてドタキャン、皆さんにご迷惑をおかけしました。FF大阪本部のお陰で50%強の返金があり、その時初めてFF大阪の暖かい理念と懐の深さを知りました。感謝しております。

2009年には、カウアイに家内と二人で参加しました。その時、同宿された池田さんの人柄に触れ、感銘を受けました。たまたま私が行ったアメリカのシカゴ、ハワイはオバマ大統領とゆかりがある都市、ほんとうに奇遇ですね。

ホスト歴は、オハイオ女性、ニュージーランド2女性、2005年カウアイから2女性、2007年レスターシャのカップル、非公式にチェコから女子学生2名、フォートワースからのカップルです。

残念に思うことは一つ、私の知人にFFのことを尋ねても殆ど知らないことで、PRの必要性を感じています。

島田 博之(堺市中区在住)



FFへの参画、これぞ私のやりたかったこと

岩田 幸子（神戸市北区在住）

私は学生の頃、ホームステイをしたことがあります。それ以来、外国の方との交流の場がないものかと常々考えていたのですが、子育てなどに忙しくて結局今まで何ひとつできませんでした。今では娘たちも成長し、自由な時間が持てるようになりましたので、まずは交流に備えて英会話を習い始めました。そしてそこでFFのことを知り、若い頃からの願い＝外国の方との交流、これぞ私のやりたかったことだ！と思い、即入会しました。入会して2年目になりますが、まだ何もできていません。今回のドイツ渡航をきっかけとして、いろいろな交流の場に積極的に参加していこうと思っております。

どうぞよろしく願いいたします。



故米井登美子さん 追悼の辞



2007年秋 受入EDとして活躍されました

米井登美子さんとの出会いは2000年11月のバンコック世界大会でした。京都在住なのに他クラブ所属と聞き、是非大阪クラブへとお誘いしたのが始まりで、その後、2003年のブダペスト世界大会でも大会前の旅行を含め、ホテル同室で一緒に参加しました。クラブ移籍後は運営委員になっていただき、受け入れでは毎年、アンバサダーの京都一日観光の企画、催行には大変お世話になりました。ホストも何度もしていただき、特に2007年秋のパイクスピーク(米)の受け入れではEDを務められて、ご苦勞をされたの思い出します。一日英会話のお世話を含め、大阪クラブへは言葉に尽くせない貢献をしていただきました。ありがとうございました。

渡航も度々されましたが、タイのナコンラシャシマ(2006)、ハワイカウアイ島(2008)へは一緒に楽しく過ごしました。今でもタイで象に乗ってはしゃいでおられた姿や、ハワイの花を髪に飾り、浴衣姿でフラを踊っていらっした姿が忘れられません。

いつも身奇麗にされて、芯の強さを内に秘めながらも、ゆっくりお話になっていた優雅な米井さん、おきれいな顔のまま旅立たれたとか、どうぞ安らかに、そして彼岸のかなたでも優雅に楽しく過ごしていらっしやることと信じ、心よりご冥福をお祈りしています。

(ご家族からの連絡によりますと、6月に入院。数々の感染のあと、肺炎を起こして、6月28日午後2時ご逝去。)

大下 すみ子 記



編集・発行 フレンドシップ フォース 大阪クラブ
発行日 2009年8月9日 第32号
事務局 〒594-0013 和泉市鶴山台3-1-40
朝倉 隆夫 tel&fax 0725-43-8331
osaka@friendshipforce.jp
<http://www.friendshipforce.jp/osaka/>
編集人 池田政綱・市原稔弘・大下すみ子・四ノ宮楡里・南方詔夫

編集後記

今秋は、ドイツ渡航に次いでオリンピッククラブの受け入れが予定されています。皆さんの積極的なご参加とご協力をお願いします。広報からもタイムリーな情報提供に努めますが、皆さんのご意見やご要望などをどしどしお寄せいただければ幸いです。